

# 企業に求められるリーダーシップ

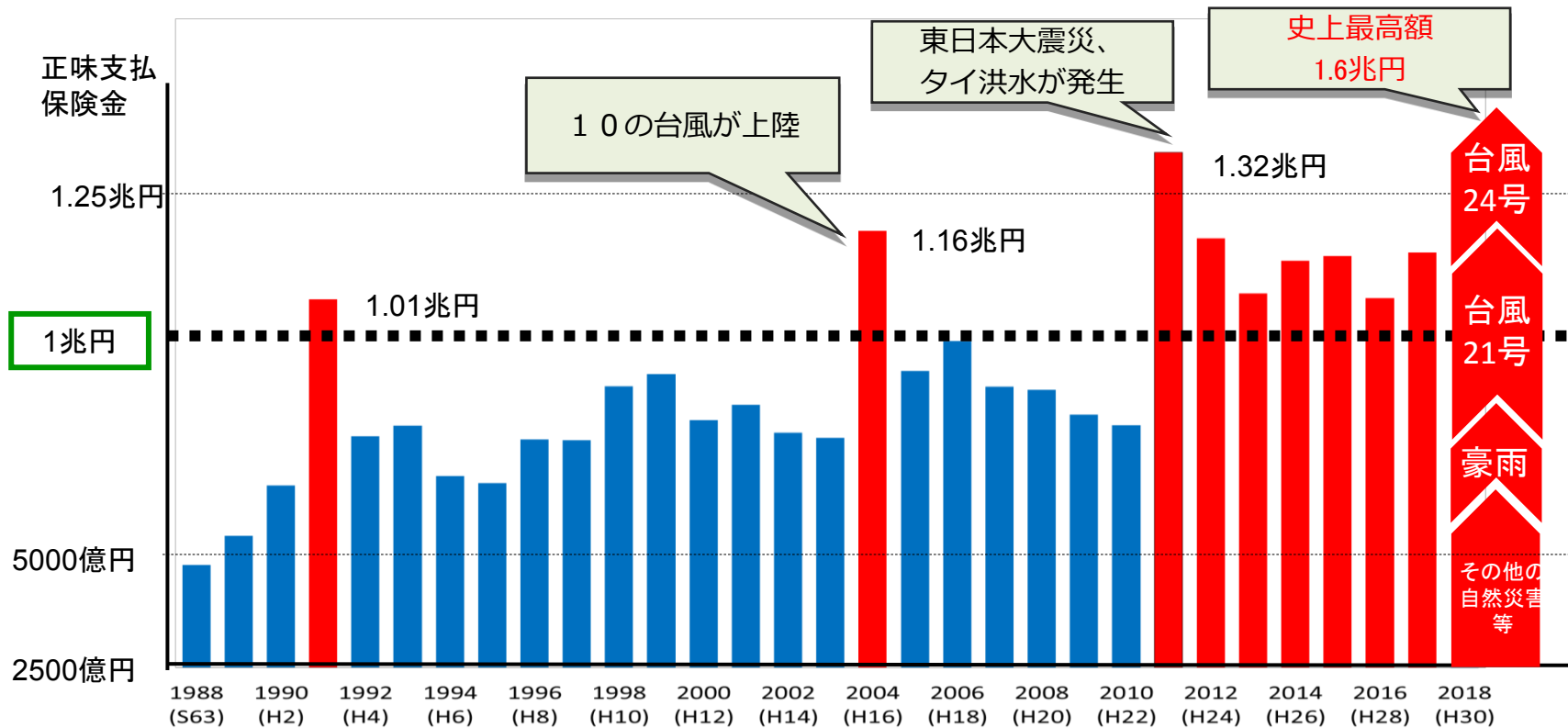
2019年11月14日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR室 シニアアドバイザー  
経団連 企業行動・SDGs委員会 企業行動憲章タスクフォース座長  
明治大学経営学部特任教授

関 正雄

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

# 保険業界全体での災害保険金の支払額



出典：日本損害保険協会

# 気候変動はもはや非常事態

- ・ 地球温暖化            Global Warming
- ・ 気候変動            Climate Change
- ・ 気候リスク            Climate Risk
- ・ 気候危機            Climate Crisis
- ・ 気候非常事態        Climate Emergency
- ・ 気候安全保障        Climate Security
- ・ 気候戦争            Climate War

# 取組みの歴史(損保ジャパン日本興亜)

1990

・地球環境室設置  
(国内金融機関初)

1992

・『環境汚染賠償責任保険』

1993

・市民のための環境公開講座開始

1997

・ISO14001取得  
(国内金融機関初)

1998

・環境レポート発行  
(国内金融機関初)

初期段階  
(環境、社会貢献)

1999

・SRIファンド  
『ぶなの森』開発

2000

・「CSOラーニング制度」  
開始

2001

・環境・社会レポート発行

※第三者意見導入

環境からCSRへ  
取組みの本格化

2003

・全社員向けCSR・  
環境教育プログラムスタート

2004

・CSRコミュニケーション  
レポート発行

2005

CDP参加

2006

国連グローバル・コンパクト、PRI署名

ステークホルダー・  
エンゲージメント強化  
グローバルなイニシアチブ  
への積極参加

2007

・お客さまの声白書発行

2009

・タイで『天候インデックス  
保険』開発

・Web約款導入

2011

・SAVE JAPAN プロジェクト開始

2012

・ISO39001取得

2014

・地域貢献プロジェクト  
開始

2010

・HD誕生と同時に  
基本方針策定

・ESGアンケート収集スタート

2012

・CSR重点課題策定

2014

・CSR-KPI策定

2016

・SDGs - グループ  
CSR重点課題の見直し

事業への統合

グループ全体での  
推進&情報開示へ

# トップのリーダーシップ(損保ジャパン日本興亜)



## 1992年 リオの地球サミット・ジャパNDER

経団連ミッションの団長として当時の後藤社長が参加

2012年



## 国連持続可能な 開発会議 (リオ+20)

当時の佐藤会長が参加し  
日本企業として事例発表



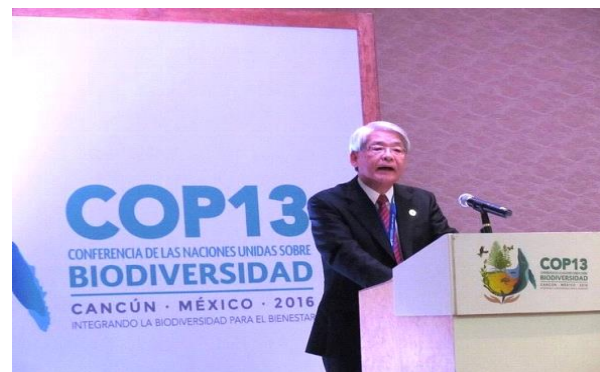
2016年

## 生物多様性条約 第13回締約国会議 (COP13)

当社二宮会長が経団連 自然保護協議会の会長として参加  
また現在、経団連SDGs企業行動委員長、CBCC会長

2018年

## 生物多様性条約 第14回締約国会議 (COP14)



# グローバルなイニシアティブへの参画 ～リーダーシップの発揮～



【国連グローバル・コンパクト(UNGC)】2006年に署名



wbcsd member

【持続可能な発展のための世界経済人会議】1995年から参加  
日本唯一の金融機関として中核的な活動に参加。



UNEP Finance Initiative  
Innovative financing for sustainability

【国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)】1995年に署名



【国連責任投資原則(PRI)】2006年に署名  
発足当初からの署名機関。



PSI  
Principles for Sustainable Insurance

【持続可能な保険原則(PSI)】2012年に署名  
起草WGメンバーとして立ち上げをリード。

## なぜ企業のリーダーシップが必要か

- ・ SDGsの核心は、トランスフォーメーション
- ・ 社会・経済システムの大変容が必要
- ・ 企業がその担い手に
- ・ 政策や規制を待つことなく行動する、企業の  
リーダーシップ発揮がカギ
- ・ ”Lead or Fail” (Peter Bakker, WBCSD)